

復興支援ボランティア事業（第3期）活動報告

派遣期間：平成23年9月9日（金）～9月11日（日）

派遣先：宮城県東松島市

参加者：ボランティア16名、引率職員2名

【1日目】9月9日（金）

22：30

八王子市役所ロビーに集合。

坂本八王子市健康福祉部長から激励の言葉をいただいた後、参加者を代表して最年少の小久保さんが活動への意気込みを宣言！

「一人ひとりの力は小さなものでも、16名が一致団結してニーズに応えられるよう頑張ります。」



22：45

東松島市へむけてバスで出発。バスの中で参加者の自己紹介などを行い、移動中のバスで車中泊。

【2日目】9月10日（土）

8：30

東松島市の活動拠点である野蒜（のびる）小学校に到着。

小学校の建物入り口上部には津波で流されてきた車が突き刺さってできた大きな穴があり、さらに中に入る

と1階廊下の天井まで海水で汚れた跡があり、津波の威力のすごさを感じました。その後、行動を共にするボランティアグループと合流し、本日の活動先、鳴瀬第2中学校に移動しました。

8:45

活動先の鳴瀬第2中学校の体育館に入ると、床が大きく波打ち、壇上の中央に掲げられた日の丸の半分まで津波で汚れていたりで、本当に驚きました。隣の校舎も1階部分はほとんど壊滅状態で、ここが学校生活の場であったことが想像できないほどの現状でした。



午前中の活動は、体育館の床はがしと片付けとなりました。中央部分での床はがし、体育館1階の片付け、2階の片付け、荷物運びなど内容によってグループに分かれての活動となりました。炎天下での活動ではなかったものの館内は蒸し暑く、途中何度か外の風をあたり、水分補給するよう声掛けをしながら活動を行いました。

11:30

グループごとに分かれていたメンバーが集合し、お昼休憩のため東部地域交流センターへバスで移動。被災者の方々がはじめたお弁当屋さん「Smile Dinning」のお弁当をいただきました。水やジュースなども提供していただき、美味しいお昼を食べながらゆっくり休憩をとりました。



13:30

休憩場所を出発。

午後は、数人は鳴瀬第2中学校の体育館の床はがし作業を継続で行い、その他のメンバーは野蒜駅近くの畑へ移動しました。畑に塩分を含んだ砂が海から運ばれて入ってきており使えないため、畑の上部の白い砂の部

分をスコップですくい、一輪車にのせ運び出すという畑の再生活動になりました。農機具も流されてしまっているため、手作業でやらなければならず、困っていた方からの依頼内容でした。



途中、依頼者から震災当日の話を聞かせていただくことができました。震災当日は石巻の職場にいて、職場のまわりに水がはいってしまったため数日間出られず、その間家族との連絡もとれなかったとのこと。数日後戻った時、変わり果てた東松島に驚いたこと、家族をさがして避難所をまわり4か所目の野蒜小学校でようやく会えたこと、移動中多くのご遺体を目にしたこと、水から引き上げられた車内に知り合いの親子が見えたこと、などとても大変な状況であった話に、ボランティアの皆さんは時よりうなずきながら聞き入っていました。

その後、鳴瀬第2中学校で作業中のメンバーをピックアップするため移動したところ、入り口で校長先生と出会いました。校長先生より“たくさんの方々のご支援に感謝感謝の気持ちです。私たちも地域と学校の復興を目指してあきらめずに頑張っております。皆様の温かい心に元気と勇気をいただきました。”というメッセージをいただきました。

16:00

1日目の活動を無事に終え、鳴瀬第2中学校の活動メンバーと畑再生活動のメンバーが合流し、宿泊地である大崎市古川へバスで移動、17:30 ごろホテルに到着しました。

【3日目】9月11日（日）

7:30

小雨がまじる天候の中、活動先へ向ってホテルを出発。

8:30

一緒に活動するボランティアグループとの合流場所、野蒜小学校に到着。

本日の活動は、昨日から継続の畑再生活動を16人全員で行うこととなりました。16名全員での活動のため、広い畑がみるみるうちに白い部分が茶色い土色に変わっていきました。依頼者の方もこれから耕して来春になったら夏野菜を植えるのが楽しみ、と喜んでくださいました。



心配した雨もひどくなることなく、時々休憩をはさみながら、11:30 に活動終了。記念にきれいになった畑で集合写真を撮影し活動場所を後にしました。



帰りのバスの中では1人ずつ感想を発表してもらい「やはり重労働で大変だった。」「震災から6ヶ月たってもまだ壊れた家がまわりにたくさんあって驚いた。」「メンバー間で交流ができてよかった。」などの声と共に、多くの方から「またこのような機会があれば参加したい」との声をいただきました。

21:00

八王子駅北口を經由し、八王子市役所に到着。

今回の活動場所は、東松島市の中でも津波の被害がとてもしばしば大きかった地域でした。移動中、傾いた家や折れ曲がった電柱など報道の映像でしか見ていなかったような現状を自分の目で見ることができ、被災地の復興は先が長いことを実感しました。同時に、まだまだボランティアの力を結集して復興への力になれることがたくさんあるのではないかと感じました。これからも八王子のボランティアの皆さんと被災地への支援のつながりを、絶やすことなく行っていければと思っています。

今回参加されたメンバー16人が、短い期間ではありましたが“少しでも東松島市の復興に役立ちたい”という思いで一致団結できたことは、本当に素晴らしい活動であったと思います。

第3期の皆さん、本当にお疲れ様でした。

文責：西田佳子（地域福祉推進課）